

開講学科	建築学専攻	実務家科目				前橋工科大学 シラバス
		—				
科目名	建築意匠特論C	標準対象年次	選択/必修	科目コード		
		1.2年次	選択	33002001		
担当教員	石黒由紀	単位数	学期	曜日	時限	
		2単位	前期	月曜日	2時限	
授業の教育目的・目標	<p>建築を設計するために必要な論理構成や空間を成立させる方法論を、書物や論文、事例の分析などをとおして学ぶ。</p> <p>対話や議論を通して各自の問題意識を認識し、具体的な設計作業につなげる。</p>					
学科の学修・教育目標との関係	<p>a. 自ら問題を発見し、自ら調べ、自ら感上げて問題解決する能力を持つ。</p> <p>i. 建築の地域社会との関わりや、建築と環境の関係について考える</p> <p>j. 建築家が備えるべき社会的責任を理解する</p>					
キーワード	環境、文化、社会、パブリック、開かれた建築、新しい建築、コミュニケーション、コンテキスト、尺度、領域、構成、風景、場所					
授業の概要	<p>設計、デザインの4つの段階、1 読取る・発見する、2 調査・分析する、3.まとめる・かたちにする、4. 表現する、のうちの、1と2を行うためのきっかけとなる概念を講義する。演習Cの課題と連動した事例の論理構成の分析、批評をすることで、各自の設計、デザインのための理論構築をおこなう。</p>					
授業の計画	<p>第1回： ガイダンス</p> <p>第2回： 建築空間を読む「今宿の家（坂本一成）」その1</p> <p>第3回： 建築空間を読む「今宿の家（坂本一成）」その2</p> <p>第4回： 建築空間を読む「今宿の家（坂本一成）」その3</p> <p>第5回： 建築空間を読む「白の家（篠原一男）」その1</p> <p>第6回： 建築空間を読む「白の家（篠原一男）」その2</p> <p>第7回： 建築空間を読む「ファンズワース邸（ミース・ファン・デル・ローエ）」その1</p> <p>第8回： 建築空間を読む「ファンズワース邸（ミース・ファン・デル・ローエ）」その2</p> <p>第9回： 建築空間を読む「ファンズワース邸（ミース・ファン・デル・ローエ）」その3</p> <p>第10回： 建築空間を読む「クルチエツト邸（ル・コルビジエ）」その1</p> <p>第11回： 建築空間を読む「クルチエツト邸（ル・コルビジエ）」その2</p> <p>第12回： 建築空間を読む「クルチエツト邸（ル・コルビジエ）」その3</p> <p>第13回： 建築空間を読む「岡田邸（堀口捨巳）」その2</p> <p>第14回： 建築空間を読む「岡田邸（堀口捨巳）」その3</p> <p>第15回： 総評 まとめ</p>					
受講条件・関連科目	<p>建築意匠演習Cと合せて受講すること。</p> <p>学部での設計科目、建築計画・意匠分野の全ての科目、及び卒業設計の履修。また、建築構造計画など横断的な専門科目の履修。建築設計、デザインに対する情熱をもっていること。</p>					
授業方法	<p>書物や雑誌、パワーポイントなどで演習の流れに沿った事例を紹介し、受講生と対話、議論することによって各自のテーマを見つける</p>					
テキスト・参考書	<p>参考書;建築構成学 建築デザインの方法(坂本一成ほか著/実教出版)</p> <p>他、その都度、紹介する</p>					
成績評価	<p>・試験(0%) ・レポート(80%) ・受講態度(20%) 注意事項()</p>					
履修上の注意	<p>院生各自が的確に調査し、一般論をふまえた上で、独自の見地から批評的に秩序立てて、空間の読解をすることが重要である。そのためには社会、文化、歴史、美術や工芸、音楽など建築の背景や関連する分野に広く興味を持ち、高いモチベーションをもって課題にのぞむこと。</p>					